

京町家等保全のための専門家と所有者の双方登録データベース整備の実践と課題検証

<調査概要>

■調査実施地域: 京都府京都市等

■調査実施者: 特定非営利活動法人 古材文化の会

- ・京都市を中心に歴史的な町家や民家を守る活動を行ってきた団体「古材文化の会」が、所有者120名に対して行った歴史的建造物の町家や民家の保全や維持管理にかかる課題などのヒアリングをもとに、所有者の抱える課題、求められている支援を洗い出し、所有者と維持管理の専門家を登録するデータベースを整備して両者を結び付けるしくみ（登録システム）を検討した。
- ・登録システムの実証のため、登録希望された5件の建物に対し、登録情報の調査、定期診断、相談対応を試行し、所有者と専門家の双方から意見を求め、本格的な事業実施に必要な知見として整理するとともに、ホームページを通じてアンケート調査を実施し、寄付金の賛同者（105名）にその寄付金額を確認し、そこからこの取組の継続実施にかかる年間運営収支を試算した。

<調査内容>

～アンケート調査～

歴史的建物所有者252名へヒアリング調査を行い、回答を寄せた120名の所有者のうち83名がシステムへの登録を希望。寄せられた意見を参考に登録システムを改善

しくみの検討

登録システムのイメージ



登録システムの小規模な試行

5軒の建物データ及び相談シートを整備
2軒には専門家を紹介



<システムの実施効果>

所有者と専門家からは建物を守るための良いシステムと評価を受けた。

但し、専門家からは建物配置図の整備などデータベースの改善点が指摘された。

<寄付収集の意向調査を行い継続実施にかかる年間運営収支を試算>

| | | |
|-------------------|---------|-----------|
| <収入> | | 1,495,000 |
| 登録料 | 360,000 | |
| 年会費 | 640,000 | |
| 寄付 | 495,000 | |

| | | | |
|-------------------|-------------------|---------|-----------|
| <支出> | | | 1,444,000 |
| 初期投資 | 備品・広報経費等 | 250,000 | |
| 運営経費 | 事務所・事務経費 人件費 | 330,000 | |
| 事業費 | 初期登録 定期訪問・定期診断 | 864,000 | |

今後の課題と展望

収支が成り立つ可能性がある

- ・登録希望者を全て一度に登録できないため、段階的に検証を繰り返しながら充実させていく必要がある。(初期投資分の費用をどう賄うかが課題)
- ・収支が成り立てば各地にノウハウが広まり、全国的に展開できる可能性がある。